

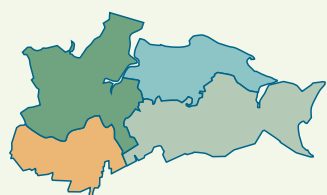
概要版



いきいきとした自然
なごやかな雰囲気の内
市民とともに歩む
きらめく未来へと発展する
つながりを大切にして進む
「いなしき」のまちづくり



「稲敷市」 20 年の あゆみ 「」



みなさんとともに 稲敷市が歩んできた 20年の日々

稲敷市は令和7年3月22日に
市制施行20周年を迎えます。

さまざまな出来事や変化を
市民のみなさんとともに経験し、
歩み、発展してまいりました。

The past two decades in Inashiki—and the city's future

On March 22, 2025, Inashiki City will mark twenty years since it instituted its municipal system. Over the past two decades, we have experienced a great number of changes and developments, through which we have progressed and developed. The city's goal is to proceed to the next level, with a view to creating an environment where people live full and happy lives in an abundant natural environment.

Three Ideas Behind Our Concept of Proceeding to the Next Level

1. Bringing people the commodities they want and the activities they love
2. Making people happy
3. Taking up new challenges to suit the times

2005

稲敷市誕生！

2005(平成17)年3月22日、
「江戸崎町」・「新利根町」・
「桜川村」・「東町」の4町村
が合併し、稲敷市が誕生。



2006

市民憲章など制定！

2006(平成18)年3月
▶ 稲敷市市民憲章の制定
▶ 稲敷市の花・木・鳥が決定
▶ カナダ・サーモンアーム市と
姉妹都市締結
同年12月
▶ 稲敷市議会議員選挙執行



市章

2005年
3月22日制定

2007

「子育て支援センター
あいアイ」開設。

2008

「稲敷市障がい者センター
ハートピアいなしき」開所。

2009

▶ 圏央道「稲敷IC」開通

2009(平成21)年3月、首都圏中央連絡
自動車道(圏央道)の「稲敷IC」が開通。
首都圏へのアクセスが良好に！

▶ 幼保一元化施設

「認定こども園えどさき」開園



2010

稲敷たから音頭完成

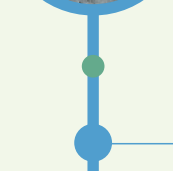
2010(平成22)年3月、
「稲敷たから音頭」が完成。



2011

東日本大震災

2011(平成23)年3月、東日本大震災が
発生し、市内でも震度6弱を観測。災害
対策本部を立ち上げ、応急対策や被災地
支援に全力で取り組みました。



2013

新東小学校が
あずま東小学校と統合

2014

▶ 圏央道「稲敷東IC」開通

2014(平成26)年4月、圏央道で
新たに「稲敷東IC」が開通。

▶ 「新利根小学校」を開校

根本小学校・柴崎小学校・太田小学
校を統合し「新利根小学校」を開校。

▶ 桜川幼稚園と桜川保育所が

認定こども園「桜川こども園」としてスタート。



2015

▶ 稲敷市誕生10周年

& 稲敷いなすけ誕生

2015(平成27)年1月、稲敷市は市制施行10周年
を迎え、記念式典を開催。10周年を記念し、マスコッ
トキャラクター「稲敷いなすけ」が誕生しました。

▶ 江戸崎かぼちゃが

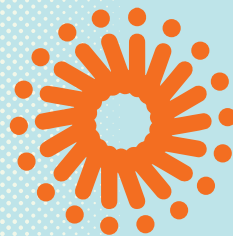
地理的表示(GI)保護制度に登録



稲敷いなすけ

2025

稲敷市誕生20周年!



稲敷 = ツナガル = まちづくり

INASHIKI

稲敷市は 新たな ステージへ 進みます

2024

第3次 稲敷市総合計画

2024(令和6)年3月、「第3次稲敷市総合計画」を策定。専門家や市民とともに、今後のまちづくりのあり方について抜本的な見直しを行いました。



2021

▶東京オリンピック

2021(令和3)年、東京オリンピックが開催され、稲敷市はオーストラリアトランポリン代表の事前キャンプ地に!



▶「桜川小学校」を開校

阿波小学校・浮島小学校・古渡小学校を統合し「桜川小学校」を開校。



2020

稲敷市誕生15周年

2020(令和2)年、市制施行15周年を迎えたこの年、「新型コロナウイルス」が流行し始め、市内でも様々なイベントが中止となりました。



2019

▶いきいき茨城ゆめ国体

2019(令和元)年9月、第74回 いきいき茨城ゆめ国体が開催。稲敷市は「トランポリン」競技の会場となりました。

▶稲敷工業団地地区計画決定。

2017

あずま南小学校が
あずま東小学校と統合。



2016

▶新庁舎開庁

2016(平成28)年3月、新庁舎がついに完成! 同年5月6日に、稲敷市の新たなシンボルとして開庁。

▶君賀小学校・鳩崎小学校が 江戸崎小学校と統合。

基本理念 1 // さまざまな主体がつながるまちづくり

最初のアプローチは、つながること。市民、企業、行政はもちろん、ヒトだけでなくモノやサービス、システムや情報など、稲敷市のさまざまな主体がつながるまちづくり。すべての市民が、つながる意識を明確に持って連携・協力するまちづくり。稲敷市は、あらゆる主体を効果的につなげるまちづくりに取り組んでいきます。

基本理念 2 // 市民の笑顔を追求めるまちづくり

次のアプローチは、人々の笑顔を引き出すこと。一人ひとりの笑顔は、一人ひとりの豊かな暮らしや幸せな気持ちの象徴です。年齢も性別も地域も関係なく、市民の、より多くのキラキラした笑顔を追求めるまちづくり。稲敷市は、すべての市民の笑顔を引き出すまちづくりに取り組んでいきます。

基本理念 3 // 変化をとらえ新時代を拓くまちづくり

3つ目のアプローチは、新しい時代を拓くこと。厳しさを増す社会情勢や外的脅威は、新しい挑戦に踏み出すきっかけでもあります。目まぐるしく変化する社会の流れを的確にとらえ、突破力をもってチャレンジするまちづくり。稲敷市は、市を取り巻くさまざまな変化をとらえ、新時代を拓くまちづくりに取り組んでいきます。

基本目標 1

協働の力で
暮らしと産業を
元気にする
まちづくり

基本目標 2

自然と都市が
共存する
住み続けられる
まちづくり

基本目標 3

子どもたちを育み
楽しく学び続ける
まちづくり

基本目標 4

誰もが健康で
いきいきと
暮らせる
まちづくり

基本目標 5

市民の生命と
財産を守る
まちづくり

誰もが「自然とともに豊かさを実感できるまち」へ
～いなしきの新たなステージへ～



いきいきとした自然

水と緑の豊かな自然と都市環境が調和したまちで、健やかに育まれる 心とからだ



水田風景



リバーサイド公園 (かぼちゃ公園)



新利根川桜づつみ

自然環境の保全

霞ヶ浦を主とする豊かな水辺環境や里山の保全に努め、原風景を次世代へ守り伝える活動に取り組んでいます。公共下水や高度処理型合併浄化槽の設置補助などの生活排水対策や、太陽光などの再生可能エネルギー活用にも努めています。

地域資源を活かした 市街地の形成・都市機能の充実

市民が幸せを感じる生活を実現するため、市街地の整備および発展、利便性の向上に注力しています。これらの取り組みにより、住みやすく、豊かな暮らしができる住環境を目指しています。



市民とともに歩む

市民・企業・行政などが連携し、協働で進める まちづくり

いなしきを未来につなぐ地域づくりワークショップ



人とつながる 力を合わせる まちづくり

令和3年4月に桜川地区が、令和4年4月に市全域が過疎地域に指定されたことをきっかけに、市民参加型のまちづくりの一貫として、「いなしきを未来につなぐ地域づくりワークショップ」を開催。その他にも座談会を開催し、市民目線でのまちづくりに取り組んでいます。



市長との座談会

民間企業と連携した雇用・産業の活性化

地域に根差した商業・工業の振興は、持続可能なまちづくりの基盤となります。首都圏近郊の地理的利点と圏央道の経済効果を活用し、企業誘致と地元雇用の拡大を促進します。また、官民連携による産業振興に取り組み、商工業の発展と人材確保を図っています。



高校での企業説明会



稲敷工業団地



A lively natural setting

Inashiki strikes a perfect balance between water environments, a rich natural setting, and an urban landscape—all in a place where people can optimize both their physical and mental health. Formation of urban areas and urban functions are designed to incorporate regional resources as well as preservation of the natural environment.



Working with city residents

Private citizens, corporations, and the municipality all work together to step up community-building. The key here is collaboration between people—when we work together with private corporations, we give a boost to employment and industry.



なごやかな雰囲気の内

子どもから高齢者まで、生涯にわたり安心のクオリティ オブ ライフ



ICTを活用した授業

未来を担ういなしきっ子の育成

安心して産み育てられる環境を整え、また成長の過程で郷土愛の醸成を図ります。すべての子どもの成長をトータルで支える子育て支援を展開していきます。



3歳児健診



介護予防教室

生涯を通じて健康的で いきいきとした生活

「誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり」を推進。乳幼児から高齢者まで、すべての市民が心身ともに健やかに暮らせるよう、適切な社会保障・支援・サポートの充実を図っています。



きらめく未来へと発展する

デジタルの活用と世界との繋がり、誰もが幸福と豊かさを感じられる未来へ

未来に向けた取り組み 世界との繋がり

グローバル化・インバウンドに向けた取り組みを、近隣施設や姉妹都市と協力し推進しています。また、成田国際空港でのフライト体験等を通じて児童の航空業界への関心を育んでいます。



成田国際空港の見学



成田国際空港での周遊フライト体験

デジタル化の推進 安全と市民の豊かさを守る活動

デジタル・トランスフォーメーション(DX)により、行政サービスを向上させ、市民にとって快適で効率的な社会の実現を目指しています。

市民の安全を確保し、市民の生活を向上させるために、行政・市民・企業などが協力して、デジタル化とSDGsの推進等に取り組んでいます。



稲敷市公式アプリ



スマート農業の推進



A relaxing city

Inashiki residents experience a life of quality and a sense of security, from the time they are children through old age. Here, people live healthy, dynamic lives, starting with the kind of childhood education that also instills a sense of responsibility for the future.



Moving toward a bright future

The world is now inextricably linked by digital technologies. Our goal in Inashiki is to move toward a future where no one is left lacking happiness and abundance. In this connection we work to bring people closer through digitalization, and to protect the safety and affluence of our residents.

稲敷市には



誇れることが たくさんあります！

We are proud of Inashiki City and its assets

The following are some highlight.

▶ A magnificent natural environment

Inashiki is known for its wild geese—a National Natural Treasure, and for rare flora and fauna species. The area also offers a multitude of activities where people can enjoy the natural environment to the fullest.

▶ High-quality agricultural commodities

The area is known for its excellent quality farm products, including tasty rice and local specialty items such as pumpkin, lotus root, and more.

▶ Historical assets and cultural treasures

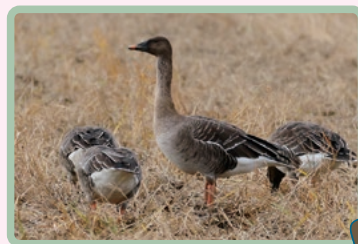
Known for its history, Inashiki is home to numerous historical heritage and archeological sites, as well as cultural assets, left behind by our forebearers.

豊かな自然



オオヒシクイが飛来

毎年12月になるとオオヒシクイが、稲波干拓地へ、ロシアから飛来します。オオヒシクイは国の天然記念物に指定されています。



みょうぎのはな 妙岐ノ鼻

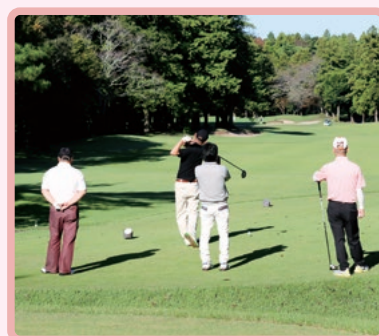
関東最大級のヨシ原といわれ、希少野生動植物種も生息しています。



アクティビティ



豊かな水辺や稲田などの美しい風景を満喫できるサイクリングや、市内に多数あるゴルフ場でのゴルフなどが楽しめます。



広大な田畑で育つ 美味しい食材！



江戸崎かぼちゃ

江戸崎かぼちゃは農林水産物や食品を国が地域ブランドとして保護する「地理的表示(GI)保護制度」にも登録されています。



浮島れんこん

浮島れんこんは、鮮度・品質・味で抜群の支持を得ている、日本一とも言える、れんこんです。

おいしいお米

コシヒカリやあずまミルキークイーンなど良質なお米の産地です。

歳月をかけ育まれた 歴史・文化



先人達の知恵や文化によって育まれた、歴史遺産や遺跡が数多く存在します。

① 平井家住宅

〈国指定重要文化財〉

17世紀後半の建築とされる国指定重要文化財。

② 広畑貝塚

〈国指定史跡〉

縄文人の豊かな生活の痕跡を今に伝えます。

③ 横利根閘門

〈国指定重要文化財〉

大正10年に完成した利根川と霞ヶ浦を結ぶレンガ造りの閘門です。



市長挨拶



市長 筧 信太郎

手をたずさえて輝く未来へとつなぐ

稲敷市は、令和7年3月22日に市制施行20周年を迎えます。市民の皆様方をはじめ、関係団体や関係機関、当市に関わる皆様方のご支援、そして先達のご尽力により、記念すべき節目を迎えることができたことに心から感謝申し上げます。

この20周年を機に、より一層、稲敷市に愛着を持っていただけの取り組みを進め、市民の皆様とともに新たな未来を切り拓いてまいりたいと考えております。

そして、これまで受け継いできた豊かな自然、歴史や文化を次世代に引き継ぎ、10年後、20年後においても市民の皆様方が笑顔と希望に満ち溢れ、豊かさを実感できるまちの実現に向かって歩みを進めてまいります。

皆様方には、今後ともご支援とご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。

令和7年1月 稲敷市長 筧 信太郎

Greetings from the Mayor

Together with our residents,
we work toward a bright future.

As of March 22, 2025, we in Inashiki will have twenty years behind us since enacting the municipal system. We wish to express our appreciation for everyone working with us on our projects for Inashiki City. Our plan is to continue to work toward the future, in partnership with our residents, to further implement a host of initiatives designed to make our city an even more attractive place to live. As we pass on the various assets of Inashiki — including nature, history, and culture — to future generations, our goal is to always bring our residents a sense of hope, abundance, and happiness, ten and even twenty years down the road. Thank you all for your ongoing support and collaboration.

Shintaro Kakehi. January 2025

市制20周年記念 こども絵画コンクール

テーマ「20年後の稲敷市」

稲敷市市制施行20周年を記念して、稲敷市に在住・在校の小中学生を対象にこども絵画コンクールを開催しました。

市長賞



「自然と都市、人と人とのつながり」

大竹 悠月さん(新利根小6年)

市議会議長賞



「こうなったらいいな」

柴田 茉陽さん(あずま北小1年)

教育長賞



「笑顔があふれるぼくの稲敷市」

吉田 煌さん(高田小3年)

稲敷市

マスコット キャラクター



市制施行20周年を記念し、稲敷いなすけに新ファミリーが加わります！

稲敷
いなすけ



いな
すけ



稲敷
さくらちゃん



市の情報

位置／地勢

natural features

緯 度 北緯35度58分23秒 ※1

経 度 東経140度18分13秒 ※1

面 積 205.81km²

東 西 約23km

南 北 約14km

平均気温 15.4℃ ※2

年間降水量 884.5mm ※2

(令和5年10月1日現在)

※1 稲敷市役所

※2 消防年報／稲敷広域消防本部調べ

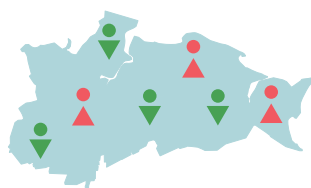
人口統計

demographics

総人口

37,168人

人口／年齢別比率
(令和6年10月1日現在)
※住民基本台帳・常住人口調査



男

18,829人



女

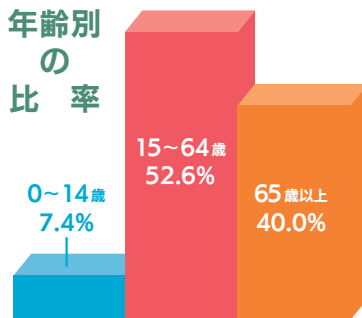
18,339人



世帯数

16,493世帯

年齢別の比率



人口密度

1km²あたり 179.3人

転入 1日に
3.5人

転出 1日に
3.7人

出生 1日に 0.3人

死亡 1日に 2.0人

家族 1世帯あたり 2.5人

人口密度／転入・転出／出生・死亡／家族(令和5年10月1日現在)※常住人口調査

市の予算

city budget

年間市民一人当たり

587,000円

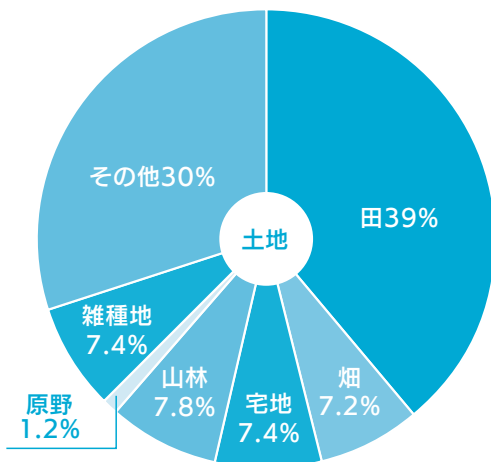
※令和5年度 統計いなしき



土地利用

land use

(令和5年1月1日現在)
※税務課調べ



田	8,031.4ha
畑	1,482.9ha
宅 地	1,530.5ha
池 沼	16.4ha
山 林	1,608.5ha
牧 場	32.4ha
原 野	250.0ha
雑 種 地	1,517.8ha
そ の 他	6,111.1ha
計	20,581ha



茨城県稲敷市

〒300-0595 茨城県稲敷市犬塚1570番地1

TEL.029-892-2000 <https://www.city.inashiki.lg.jp/>

発行／令和7年1月 編集／稲敷市秘書政策課 印刷・制作／株式会社 光和印刷

